

教育課程研究指定校事業実施計画書（平成30年度）
 — 研究課題 1 高等学校 —

都道府県・指定都市番号	21	都道府県・指定都市名	岐阜県
-------------	----	------------	-----

公立・私立・国立（○で囲む）

1 研究指定校の概要

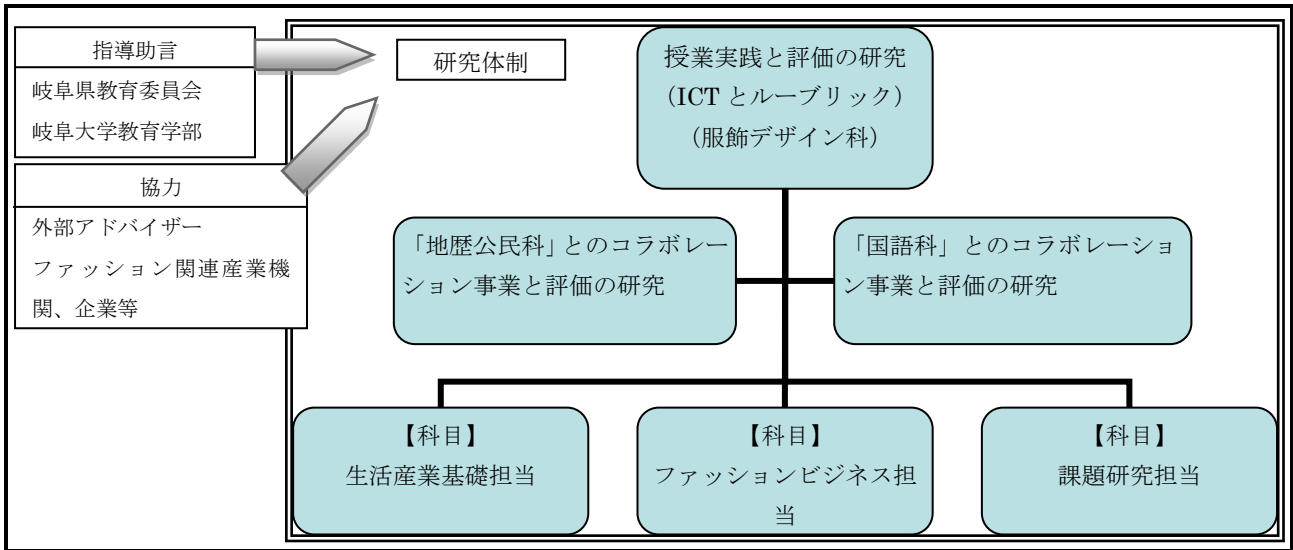
ふりがな 学校名	ぎふけんりつおおがきくらこうとうがっこう 岐阜県立大垣桜高等学校					ふりがな 校長氏名	わたなべ みちこ 渡辺 美智子
所在地	〒503-0103 岐阜県大垣市墨俣町上宿465-1 電話 0584-62-6131 FAX 0584-62-5608 e-mail c27345@pref.gifu.lg.jp						
設置する課程 (H30.4.1 見込)	全日制					(H30.4.1 見込。臨時的任用の者は常勤の者のみ含む) 教員数 48名	
生徒数 (H30.4.1 見込)							
学科名	1年	2年	3年	4年	計	[調査研究にかかわる教科等の教員数] 14名	
服飾デザイン科	40	37	39		116		
生活文化科	80	78	80		238		
福祉科	40	39	36		115		
食物科	40	40	39		119		

2 研究主題等

教科等名	「家庭」（専門教科）	教科課題番号等	1
学校における研究主題	専門教科「家庭」における、地域の特色を生かした指導方法及び評価方法の研究 ～学校と地域との間に好循環を生み出す発信方法の工夫を通して～		
研究主題設定の理由	服飾デザイン科では、将来ファッション産業界で活躍できる人材育成を目標とし、プロから職業人としての心構えや、専門性の高い知識と技術を学び、資格取得や各種検定、コンクールにも積極的に挑戦している。また、平成27年度から3年間、文部科学省から指定を受け、「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業」に取り組み、生徒が地域産業をより深く理解し、知識、技術を身に付けることができたと同時に、教員側も、地域のよさを生徒に伝えることの重要性を認識した。しかしながら、地域の核となり、地域を担う職業人を育成するためには、発信という点で課題が残った。これまでの研究等を通して提案してきた作品等の成果物をどのように発信していくか、このことが学科はもとより、地域の活性化にもつながると考える。そこで、学科における発信方法の工夫に着眼し、学校と地域との間に好循環を生み出す研究を進めたいと考え、本研究の主題を設定した。将来は地域を支える職業人として活躍するために、実践的・体験的な学習と、主体的に考え提案できる力を育成したいと思い、専門教科「家庭」において、本研究の主題を設定した。服飾デザイン科の約8割の生徒は高等学校卒業後、ファッションに関する上級学校へ進学し、卒業後は、地元ファッション産業で働きたいと考えている。そこで、地域産業を理解し、将来は地域を支える職業人として活躍するために、実践的・体験的な学習と、主体的に考え提案できる力を育成したいと思い、専門教科「家庭」において、本研究の主題を設定した。		
研究の内容	<目指すべき人材育成> 豊かな感性と柔軟な発想力、創造力、確かな知識・技術を育成するとともに、幅広い視野からものづくりやビジネスを取り上げ、総合的にファッションをクリエイトできる、ファッションビジネスリーダーやファッションクリエイターを育成することを目指す。 ①地域産業との連携【科目：生活産業基礎・ファッションビジネス・課題研究】 地域産業を担う企業との継続的な連携を深め、尾州の織物産業について知識を深めるファッションビジネスの視点を養い、オリジナルテキスタイルの開発を行う。 ②ICTの効率的、効果的な活用		

	<p>タブレット端末を活用した、効果的な指導方法と評価方法の検討</p> <p>③指導方法及び評価の項目と方法の工夫【科目：生活産業基礎・ファッションビジネス・課題研究】</p> <p>3年間の SPH 研究で作成したルーブリック評価表を活用、改善し、地域産業に関する科目について、評価の見直しを図る。</p>
--	---

3 研究体制等



4 研究計画

	実施時期	研究内容、研究方法、成果の公開等	期待される成果等
平成30年度	前期	<ul style="list-style-type: none"> 第1回研究委員会の実施 指導方法と評価の研究 科目「生活産業基礎」「ファッションビジネス」「課題研究」における研究評価（ルーブリック評価表）の作成 ICTを活用した授業方法と評価方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 研究内容の焦点化、研究課題の明確化など 指導内容、評価方法等に関する見直し検討と指導・助言
	後期	<ul style="list-style-type: none"> 地域産業の理解と連携 科目「生活産業基礎」「ファッションビジネス」「課題研究」 講義「生徒のICT活用能力の評価について」 講義「パフォーマンス評価（ポートフォリオ・パフォーマンス課題・ルーブリック）について」 公開授業の実施と研究討議 事後アンケートの実施 第2回研究委員会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実践的能力と主体的な態度の向上 研究成果の共有化 実施状況の把握と今後の方針の確認
平成31年度	前期	<ul style="list-style-type: none"> 第3回研究委員会の実施 平成30年度に研究した指導方法と評価の修正と実践 ICTを活用した授業方法と評価方法の検討と改善 	<ul style="list-style-type: none"> 研究内容、研究課題の再確認、検討 指導内容、評価方法等に関する修正と指導・助言 研究成果の共有化
	後期	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業及び研究討議 生徒による成果発表会の実施 第4回研究委員会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果の共有化 外部評価 研究の総括

5 研究のまとめの見通し

<ul style="list-style-type: none"> 普通教科（国語・地歴公民科）と専門教科との横断的学習形態の実施と、効果的な授業形態の検証。 講義を通して、教員の評価に関する知識、方法の習得。 専門教科の研究内容に準じたルーブリック評価作成と実施、分析ブリック評価の見直しと検討。

氏名	職名	役割分担・担当教科
渡辺 美智子	校長	企画運営：家庭
乙津 真由美	教頭	企画運営：家庭
瀬下 裕基	教諭	教育課程：家庭（教務部長）
澤田 尚子	教諭	研究推進・教育課程・評価担当：家庭(服飾デザイン科科长)
各務 こづえ	教諭	研究推進・広報：家庭（服飾デザイン科）
古川 静枝	教諭	研究推進・広報：家庭（服飾デザイン科）
大矢 春美	常勤講師	研究推進：家庭（服飾デザイン科）
中村 親也	特別非常勤講師	研究推進・ICTの活用技術（服飾デザイン科）
郷 絵美	教諭	研究推進：家庭（家庭部長・生活文化科長）
岡田 浩一	教諭	地域産業理解・評価担当：社会
西村佐英子	教諭	コミュニケーション力・評価担当：国語
福島 洋之	教諭	地域企業との連携と地域産業に係る進路実現と分析（進路指導部長）
山田 孝幸	教諭	効果的な情報発信の検討（情報図書部長）
鳥居 さやか	講師実習助手	経理文書担当